

# ねっとわーく水沢

<第91号> 2022年(令和4年)9月25日(日曜日)  
編集・発行 水沢地区振興会内、水沢地区広報委員会  
事務局 水沢公民館内  
電話 758-3101 FAX 758-3102  
E-mail:mizusawa-k@city.tokamachi.lg.jp

地区内世帯数・人口(8月末日現在)  
**1,814世帯 4,832人**  
(男2,391人 女2,441人)  
前年同月比  
世帯 -4世帯 人口 -116人



## 新宮地区 景観形成 植栽活動

休耕農地を利用して、ひまわり畑

10月10日発行の予定でしたが、掲載内容の都合により9月25日に変更しました。

お詫び

- ◆ 水沢公民館・振興会職員紹介 2
- ◆ 水沢ふれあい物産館
- ◆ 水沢地産地消の会
- ◆ 越後妻有大地の芸術祭2022 新たな作品 4
- ◆ 養護老人ホーム妻有荘 5
- ◆ 水沢女性防火クラブ市外研修会 6
- ◆ 地域の黒板 6
- ◆ 串焼き・海鮮まつ海 7
- ◆ 中学生私の主張 7
- ◆ 水沢中学校優秀賞獲得 8
- ◆ 第1回水沢地区ウォークラリー 8
- ◆ こどもまつりお知らせ 9
- ◆ 編集後記 10

目次

水沢地区振興会 事務局

南雲和幸

昨年四月から振興会事務局としてお世話になっており、今年四月からは一人体制です。

勤務は基本的に月・水・金の午前八時半から午後三時までですので、御用の際は事前に公民館に確認をお願いいたします。



5月からお世話になっております、布川恵梨と申します。以前は下条公民館で4年8ヶ月勤務していました。変わった苗字ですが出身は大黒沢です！地域の皆様のお力になれるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



夜間管理員の保坂達也さん  
昨年6月から勤務しています。宜しくお願いします。

夜間管理員の山口一夫さん  
以前と比べ利用者が少なくなってしまう、少し残念だ・・・もっと利用し易いようにしてほしいね・・・



地域の方から「公民館は今どんな人がいらんだい」という声をいただきましたので、公民館の職員の方を紹介します。

水沢公民館副館長の斉木和幸です。就任して2年目となります。公民館各種講座開催や貸館のほか、情報館分室でもあるので本も借りられます。皆様の憩いの場になればと願っております。ご来館お待ちしております。



今年の4月1日より地域支援員に任用されました丸山惣平です。様々な方のご意見を伺いながら地域振興策に取り組みますので、よろしくお願いいたします。



十日町市に移住し3年目を迎えます。子供も5年生になり、生活にも慣れてきましたが「コロナ禍で何もできないまま終わってしまう」と思っていた時、任期延長できることに。あと1年、頑張ります！  
協力隊/羽鳥美香



水沢ふれあい物産館へ、こらっしやい!!

昨年の 8 月のお盆時期より、3 回に渡り開催した「水沢ふれあい物産館」は、国道 117 号線沿い伊達・大沢トンネルに向かう県道入口付近にあります。店内には地域野菜の直売所を中心に、からむし商品(伊達)やさるなし商品(大黒沢)をはじめ水沢ブランドの品物が勢ぞろい! カフェスペースもあつて休憩もできるようなっています。今年は大地の芸術祭に合わせて 7 月 30 日〜 9 月 4 日まで、おもてなし会場として毎日営業していました。運営には事務局であり地域おこし協力隊の羽鳥さんと、地域の野菜生産者の方(水沢地産地消の会)が関わっているという。夏休み期間中におもてなしスタッフとして、馬場小学校 6 年生江口希菜さんと富井咲希さんの 2 人が参加してくれました。野菜を並べ、値札を付けたりお手伝いをしながら、気に入った商品を聞いてみると、BIB(伊達)の「玄米お粥ばん」なんだとか。穂んわか(土市)のパンやピオーネのジュエライトなど、女性が作る商品が人気なようです。その他、めだかやからむし染体験(予約制・有料)、も新しく加わり、訪れた方を楽しませていました。これから秋に向けてイベント開催になります。新米や焼き芋、地域の野菜も秋野菜が豊富で、第 3 週末が楽しみなようです。最後に、私も近所です。時々野菜を買いにお邪魔してカフェでひと休みさせて頂きました。そして馬場小学校の生徒さん、暑い中きちんと宿題もやりながらスタッフとしてお手伝いご苦労様でした。



水沢地産地消の会とは・・・

きっかけは、学校給食の地産地消率を上げるプロジェクトでした。水沢学校給食センターでは小中学校の子供たちに食育の一環として地元(水沢地区)の野菜を食べることから始まり、育てること、収穫することなど、地域色を活かした学習を学校生活の中で親しんでもらえるよう取り組んでいます。地域の生産者さんと小売店さんと協力して「水沢地産地消の会」を作りました。これから学校給食だけでなく、地域のために地域の野菜を消費してもらえるような活動を目指しています。

ご家庭で作っている野菜を販売してみませんか?

直売所では既に水沢地産地消の会に登録している生産者さんから野菜を販売いただいています。来年には加工品づくりも予定しています。

たくさん野菜が採れ過ぎて消費が大変、配るのも大変という方は、ぜひ会員登録(登録料・なし)をお願いいたします。野菜を販売したい方は名札の付け方などもご案内します。



- ・登録ご希望の方は水沢地産地消の会にご登録ください。
- ・出展料売上の 20% (月末締め・翌日 10 日払い)

水沢ふれあい物産館 事務局・地域おこし協力隊/羽鳥  
 【営業日・時間】9/11 月第 3 土日祝 午前 10 時〜午後 4 時  
 【場所】伊達の旧川原屋(伊達甲 358)  
 【電話】025-758-3101 (水沢公民館内)  
 【携帯】090-4454-6353

## 「越後妻有 大地の芸術祭 2022」新たな作品

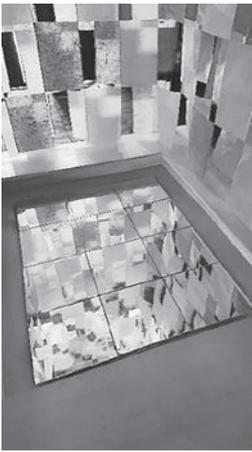
Doobu 立命館大学産業社会学部永野聡ゼミ

「皓雪冽白こうせつれつぱく、漉き込む十日町の記憶す」

この作品を立案・製作した DOOBU の代表であり立命館大学産業社会学部) 准教授の永野聡先生と学生さんに取材させていただきました。

今回の作品は地域資源であるサクラ・ツツジ・クルミと十日町市犬伏にある伊沢和紙工房(げやき)の会さんが育生した「楮(こおぞ)」を使った和紙を展示製作してありました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1年遅れての展示開催となりましたが、伊沢和紙工房の和紙職人である山本貢弘さんと地元有志の方から楮の育生や扱い方を教わるなど全面的に協力していただいたそうです。淡い表情の和紙は、十日町の深雪の白さと植物たちの豊かな色彩を表しているそうです。一つひとつ表現が異なる和紙が水面から新たな表層として湧き上がり、小屋から差し込む光と風によって伊達集落の情景を映し出しています。また製作に参加した学生さんは水面下が鏡板になっていることで水面に映る和紙の表情が違っているとところが見所だと話してくれました。



そしてこの作品を製作するため、山本さんとは何度も何度もやりとりを重ね、信頼関係が構築したそうです。しかし作品制作を開始しようとしたタイミングで山本貢弘さんの訃報があり、まさ

に青天の霹靂。茫然となりながらも山本さんが実践してきた風土と暮らしを再度繋げたいという意志で完成に向けて奔放していた中、山本さんの師匠である門井和紙の小林康生さんや伊沢和紙工房の後継となった小嶋さん夫妻の助けを借り、なんとか完成することが出来たそうです。

作品展示会場受付後、建物の中に入り先に写真だけを撮らせてもらい、その後用意してあった説明書を読んだけれど聞き慣れない言葉や正直読めない文字があり、調べて読み方やその言葉や文字が持つ意味を知りました。とても勉強になりましたし、製作者の思いを感じながらじっくりと作品を見学させて頂きました。十日町の雪の白や、和紙の白が清らかで透き通っていて美しく感じ、少しの間、暑い真夏の現実を忘れさせてくれました。

雪国十日町の美しさをこのような形で表現出来ることに感動し、改めて越後妻有の大地の良さを知ることが出来ました。

そして芸術祭の期間中、この作品の受付をされた地元伊達集落のボランティアの方や立命館大学の学生さん暑い中本当にご苦労様でした。訪れたお客様は受付で作品についての話を聞いたり、おもてなしの新鮮な夏野菜を頂いたことにとっても喜んでいました。訪れたお客様と話をするのが人と人のふれあいであり、何より笑顔が最高だと感じました。

※「皓雪冽白、漉き込む十日町の記憶」は9月4日に公開終了しました。

編集委員 F

今回の作品の他に「TUMARI HOGUSHI」という”人・コト・モノ・時を繋いで街ほぐしをする“という活動をしているそうです。新型コロナウイルスの影響で渡航制限や外出自粛が続く人々が越後妻有を知るきっかけも少なくなりましたが、そうした時でも多くの人と越後妻有を繋ぎたい、新しい動きが越後妻有から生まれる手助けをしたいという思いをデジタルの力で実現していくプロジェクトです。

ぜひ、Webを通して越後妻有のたくさんの方の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

他の作品を Web で触れたい方は  
<https://www.doobu.art>  
 下の QR コードへアクセスして楽しんでください。

『ゆく水の家』と『いちのそのしよ』

林の木々が着飾られていた。「ゆく水の家」梶田ちひろ作、大地の芸術作品で今年新作、市ノ沢で空家を作品に。この情報で取材に行った。ガイドも見ずに失礼かとも思ったが、先入観なしに作品を見よう！

受付スタッフの方から促され、玄関で靴を脱ぎ暗幕の中へ。真っ暗で何も・・・。1人できて失敗と思っていた時、障子戸の向こうが少しずつ明るく、床が揺らめいている。あれは川、当間川？『墨絵のような白と黒の世界』、見ていると落ち着く感じがした。

そこから急な階段をやつと上がり2階へ。小さな枠の向こうを覗くと『白く光り眩しい世界』それは市ノ沢を覗いているようだった。対照的な部屋でした。

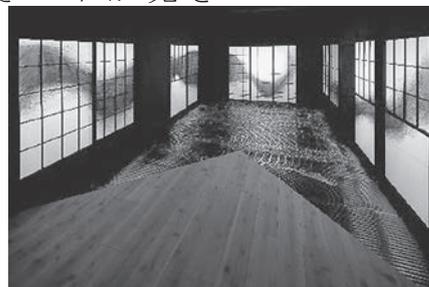
出でからお話しを聞いたところ、黒い大きな川の線はボールペンで描いたもの。よく見ると無数の線。ビックリ。聞かなければ分からないことでした。県内外からのリピーターが何人もいるそうです。

スタッフは平日こへび隊、土日「いちのそのしよ」だそうです。

チームTシャツとおもてなし作品が目に入ってきます。林の装飾と敷地の切り株。どのようなものにするか考え準備をしたとのこと。作品と市ノ沢の一体感を感じました。

今は緑の田んぼですが、この号が皆さんの家に届く頃は黄金色になっているでしょうか。皆さん、地元作品を見に行ってみませんか。

編集委員 I



梶田ちひろ「ゆく水の家」Photo Kioku Keizo

※「ゆく水の家」は11月13日までの土日祝日に公開しています。

「私たち、頑張ってます。」

〜妻有荘園芸クラブの活動を通して〜

養護老人ホーム妻有荘 施設長 田中 保雄

日頃より、社会福祉法人妻有福祉会および養護老人ホームの運営に際し、多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが猛威を振るい、約2年半が経過しようとしています。日々の業務においては、毎日の検温、手指消毒、各部屋の換気や入居者、職員の体調管理など生活様式が変化し、いつまで続くのか見通せない状況が続いております。まさか、このような長期間になるとは、想像することが出来ませんでした。

妻有荘の入居者の皆様にも、ご家族等との面会や外出の制限を継続し、長期にわたって窮屈な生活を送っていただいております。

そんな状況の中ですが、今回は妻有荘の園芸クラブの紹介をしたいと思います。総勢10名のメンバーで、ナスやキュウリ、枝豆、



トマト、小玉スイカなどを栽培したり、花の種を買ってきて丁寧に育て、園内とところどころに飾っていた。今年だけ一服の清涼剤になっていきます。今年のは、園芸クラブのメンバーも増え、農作物の種類が増えたり、荒れた土地を耕したりして、畑もとても大きくなりました。コロナ禍ではありますが、張りのある生活を送ろうと入居者も意欲的に取り組んでいます。



以前は、妻有荘で栽培した農作物を楽しみにされていた地域の皆様もいらつしやいました。コロナ禍ではありますが、一日も早く、地域の皆様との触れ合いができる日々を待ち望んでおります。今後とも地域の皆様からのご指導、ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 水沢女性防火クラブ市外研修会へ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で数年研修を行うことが出来ませんでした。が、県市内の感染者の数も落ち着いてきたことで、6月21日に燕・弥彦総合事務組合消防本部吉田消防署やおぢや震災ミュージアムへ研修に行ってきました。

今回は十日町地域消防本部警防課長補佐宮澤徹也さんから同行して頂き、道中の車内では十日町市の消防署内のことや、災害救助犬十日町のボランティア団体の話など今まで知らなかったことを学ばせて頂きました。

研修先の燕・弥彦総合事務組合消防本部吉田消防署では、管内の緊急車輛出動状況や煙体験、地震体験をしたり、署内の指令室や災害時の備蓄倉庫などの見学をさせて頂きました。

昨年度は第2位という成績だった新潟県消防救助訓練技術大会、今年度は優勝目指しているそうで、迅速で機敏な動きで強固な訓練に励んでいる姿も見学させて頂きました。



宮澤さんから学んだ日常生活において参考にして頂きたいことをお伝えします。

#### 十日町市の火災発生状況について

- 令和3年中の火災件数は26件(死者なし)、内訳は建物12件、林野2件、車両3件、その他9件
- 過去の統計から4月と5月が多く、時間帯は10～11時と15～16時が多い
- 過去5年間の発生原因は、たき火による火災が多く電気装置(分電盤や古いコンデンサなど)からの出火もある。

#### 救急出動について

- 年間約3000件出動(概ね8.2回/日)
- 種別は急病が55%、一般市負傷(けが)約17%、交通事故約6%
- 搬送先は、十日町病院が66%、魚沼基幹病院が14.5%。
- 搬送年齢区分は、全体の76%が65歳以上の高齢者。
- 救急車を必要としない軽症者の割合が多い。

本日に救急車を必要としている人の命を救うためには少しでも出勤数を減らすための地域住民一人一人の認識が必要。(安易に救急車を使わない)

# 夜間に救急車を呼んだ方がいい か迷った時は・・・

救急医療電話相談  
県内のプッシュ回線・携帯電話からは

#7119(夜間のみ) 毎日19時～翌朝8時

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは  
025128417119 毎日19時～翌朝8時

小児救急医療電話相談(15歳未満のお子さん)  
県内プッシュ回線・携帯電話からは

#8000(夜間のみ) 毎日19時～翌朝8時

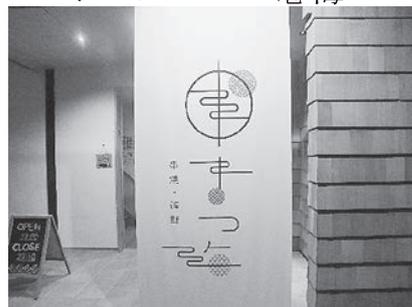
ダイヤル回線・IP電話・PHSからは  
025128812525 毎日19時～翌朝8時



## 地域の黒板

「炭が美味しく焼いてくれる」  
新装開店 串焼・海鮮 まっ海

土市にある松海寿司が串焼・海鮮まっ海に6月23日に新装開店した。店主の桑原竜太さんにお話を伺った。  
・新装開店したきっかけは  
「寿司一本でやっていくよりも、串焼き・海鮮にすれば、色々な食材が扱える。また、この地域にない飲食の業態なので、チャンスだと思った。」  
・新しくなったお店の売りは



「幅広いメニューを用意してお客様を飽きさせないことです。鶏は千葉の水郷赤鶏と長野の信州黄金シャモを使うなど食材にはこだわっています。どちらもお勧めです。」  
確かにメニューを見ると、串焼だけでも焼き鳥・海鮮串・野菜串・チーズ串と選ぶのが楽しくなる



店舗ライン  
QRコード

ほど豊富。信州黄金シャモを食べてみると食べたことのない弾力があり、噛んだ回数だけ汁が溢れてくる。海鮮串のつぶ貝は大粒で食べ応えがあり、珍しいモッツアレラチーズ串は、中は柔らか、外はトロトロに溶けて大変美味しかった。

ドリンクも充実していて、別冊子のドリンクメニューには日本酒やワインのレパトリーがずらり。料理との組み合わせが無制限に楽しめる。

・開店して数か月が経ちますが、反響は「常連のお客様はもちろん、今まで来店されなかったお客様も多く来て頂いています。まだお客様の波があるので平日は忙しくはありませんが、週末は満席の時もあります。」

土曜の 18 時に訪問したが、40 代のグループから、20 代の女性客、家族連れなど様々な世代が料理を楽しんでいた。

「鶏・海鮮共に好評ですが、特に海鮮串は地域になく、お客様の評判が良いです。寿司屋を長年やっていた経験が生きてきていると思っています。」

・開店日時を教えてください。

「11時から13時(ランチメニュー)」

夕方 17時開店 21時30分フードラストオーダー 22時30分閉店ですが、お客様に合わせて対応したいと思っています。休日は毎週月曜日、月一回日曜日お休みさせていただきます。

・PRをおねがいします。

「素材にこだわり美味しいものを提供し、味・空間・ホスピタリティで皆様の満足いただける時間を創造できるように努力してまいります。」

「私は焼いていない、炭が美味しく焼いてくれるだけです。一度美味しい串焼きを食べに来て下さい。」最後に店主は語った。

平日はまだ空いているとの事、美味しい料理とお酒、店主の楽しい話を聞きに行っただけではいかがだろうか？



## わたしの主張 水沢中学校優秀賞獲得

8月2日に段十ろうで行われた「少年の主張大会 わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会」において、水沢中学校3年の本木 椰智さんが優秀賞を獲得した。

主張タイトルは「ネットとどうつき合うか」ネット社会が当たり前の世代としてネットの情報とどう対応していくか、誤情報が社会に与えた歴史と照らしながら考察し、答えを出していく内容だ。本木さんにお話を聞いた。

「このタイトルを選んだ理由は自分の実体験がある内容だったからです。日常でもニュースで取り上げられる内容なので、主張内容として良いのではないと思いました。」

練習は体育祭準備中の生徒や練習中のバレー部など、みんなの目の前でマイクを使って練習しました。度胸をつける練習だったと思います。担当してくれた大桃先生には、上下を付けたり、声の抑揚の付け方などの指導をしてもらいました。

本番直前は緊張しました。特に前の発表者が言葉に詰まったり、出てこなかったのを見て、私も手が震えました。名前を呼ばれて壇上に立ち、第一声を出した後はスラスラと言葉が出てきたので、平常心で発表出来ました。

優秀賞の名前を呼ばれた時は正直ホッとしました。今回水沢中学校はホスト校で、同級生や後輩が司会をしていました。先生は出来れば賞を獲ってもらいたいと仰っていたので、責任は果たせたいと思いました。他の人の主張を聞く事も出来て、とても楽しい大会でした。最優秀賞はまつのやま学院の志水さん。聞いていてすごいと思いました。新潟県大会に進んだので、応援したいと思っています。」



編集委員 M



## 第 1 回 水沢地区ウォークラリー

爽やかな秋空の下、水沢地区を歩いてみませんか。新たな発見があるかもしれません♪

日 時 : 令和 4 年 10 月 16 日(日) ※少雨決行 (雨天中止)  
受付 7:30~7:50 開会式 7:50 出発 8:00  
終了予定 12:00 (ゴール後各自解散となります)

集合場所 : 水沢中学校

対 象 : 水沢地区在住者小学生以上  
(小学 3 年生以下は保護者の同伴が必要です)  
(中学生以下は保護者の同意が必要です)  
水沢地区内の事業所に勤務している方



参加費 : 200 円 (飲み物、傷害保険代として) 当日受付にお支払いください

コース : ロングコース (約 12 km)  
水沢中学校~観泉院~南雲~市ノ沢~太田島~水沢中学校

ショートコース (約 6 km)  
水沢中学校~観泉院~細尾~天池~伊達~水沢中学校  
ゴール後に豪華景品 (!?) が当たる抽選に参加出来ます!

持ち物など : 歩きやすい服装・靴、マスク等、雨具、(雨天時)  
飲み物、(主催者側でも準備いたしますが、必要に応じて各自で準備をお願いします)

参加申込 : 水沢公民館に備え付けの参加申込書を記入し申込を行う  
か次の URL より申込を行ってください

<https://forms.gle/b47vwoxpjMkYoEMn9>

申込期限 令和 4 年 9 月 30 日 (金)

問い合わせ : 水沢地区体育協会 会長 宮沢 徹也 090-4012-3439  
事務局 村山 佳久 090-5804-7948

雨天中止の場合、当日 6:30 頃に水沢地区体協役員より電話連絡いたします。

共 催 : 水沢地区振興会、水沢地区体育協会  
後 援 : 水沢公民館  
主 管 : 水沢地区体育協会



## 2年振りに「こどもまつり」開催のお知らせです！

今回は“ワンダーランド”をテーマに準備を進めています。シャボン玉アーティストによるパフォーマンスあり、片貝町からはぴよんぴよん堂がやってきます。そして市内ちびっこたちのダンススクール DSS も会場を盛り上げてくれますよ！ストラックアウトや風船アート、金魚すくいなどお馴染みのコーナーもお楽しみに！その他、キッチンカーや地元飲食店の出店もあります。

こどもたちの笑顔がみたい！そんな思いでお待ちしています。みんなで楽しい休日を過ごしましょう♪

新型コロナウイルス感染状況により内容変更や中止にすることもあります。

開催日時 10月10日(月)祝日 午前10時～15時(少雨決行)  
 ※入場の際には感染拡大防止のためマスク着用をお願いします。

会場 宮元屋様前駐車場

入場チケット 500円(わたあめや金魚すくい券付き)

～アトラクション～

シャボン玉ワークショップ1回/500円      メリーゴーランド1回/300円

ガチャガチャ1回/200円

～うまいもん～

焼きそば/500円    唐揚げ/500円    ホットドッグ/500円    焼き鳥バーガー/500円  
 おにぎり/100円などまだまだ、おいしいものがいっぱいあるよ～

※会場内での飲食はご遠慮願います。新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。

駐車場：(株)吉田商会様駐車場、農協水沢支店様駐車場、二葉家様駐車場

### 編集後記

内輪話になりますが昨年、当ねっとわーく水沢の編集長が急逝し、引継ぎのないまま、手探り状態で編集作業を分担しつつ、どうにか発行にこぎつけて既に3号目になります。

しかしまた、今年から加盟された新編集員『I』さんのお陰もあり、画期的に躍進を遂げた年だったとも言えます。

ねっとわーくの冠名の通り、インターネットを駆使し、Gメール、ブラウザ機能、編集ページのアップデート、ダウンロードの活用で、正に今の時代的に進化を遂げたといっても過言ではありません。

各編集員も、アナログ時代に取残されないう頭もアップデートしていかなければならぬと痛感するこの頃です。ご覧になっていらっしゃる方々の中で、一緒に頭のアップデートを望まれる方、どしどしウエルカムですので、どうぞお声がけ下さい。お待ちしております。

編集員 H・K



次回の発行は令和5年1月25日の予定です。ご協力をお願いします。